



日・ウズベキスタン投資協定



ウズベキスタンの基礎データ



- 世界各国からウズベキスタンへの直接投資額は約2.6億米ドル(約270億円)(07年予測値)。
- 海外からの直接投資が、エネルギー産業を中心に急速に増大。
- 07年の投資額第1位はロシア、第2位スイス(報道ベース)。
- 日本からの直接投資は2007年で約0.1億米ドル(約11億円フロー)。
ウズベキスタン側からは日本からの直接投資の促進に対する強い期待感あり。
- 人口約2740万人(中央アジア諸国最大の人口)
- 面積約45万平方Km(日本の約1.2倍)
- 中央アジアの中心に位置するユーラシア大陸東西回廊の要衝。
中央アジアのビジネスの拠点となる可能性あり。
- カリモフ大統領政権下での政治的安定性
- 順調な経済発展(過去4年は7%以上の成長率)
- 豊かな鉱物、エネルギー資源(ウラン、金、銅、天然ガス等)

日・ウズベキスタン投資協定のポイント・意義

●ウズベキスタンにおける投資の自由化及び我が国投資家の権利保護

我が国が近年締結した投資協定及び経済連携協定(EPA)の投資の章と同様に、(イ)投資財産の保護及び、
(ロ)自由化に関する規定を置き、レベルの高い内容

- ①投資の許可段階の内国民待遇及び最恵国待遇の原則供与(第2条)
- ②締約国による投資家との契約遵守義務(第3条3)
- ③投資阻害要因効果を有する特定措置の履行要求(例:現地調達要求、技術移転要求等)の原則禁止(第5条)

我が国投資家にとってのメリット

- ①投資家の「安心感」の確保を通じた対ウズベキスタン投資意欲の増大。
- ②政治が安定し、資源が豊富で経済の潜在力が高く、安価で質の高い労働力を提供し得るウズベキスタンを海外投資先に含めることにより、リスク低減・分散を通じ、海外投資を安定化し得る。